

ミクロン精密 株式会社

平成19年11月期 中間決算説明会資料



本資料は投資を勧誘、推奨するものではありません。この情報に基づいての投資判断は、個人の責任において行ってください。

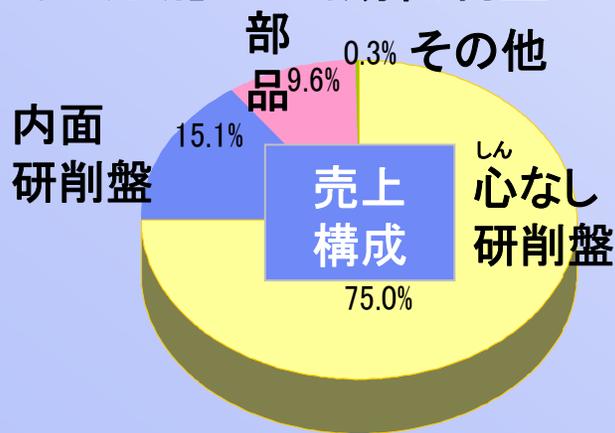
会社概要

- ◇社名: ミクロン精密株式会社
- ◇設立: 1961年10月
- ◇本社所在地: 山形県山形市蔵王上野578-2
- ◇代表者: 代表取締役会長 榊原 忠雄

代表取締役社長 白田 啓

- ◇事業内容: ^{しん}心なし研削盤(センタレスグラインダ)及び内面研削盤(インターナルグラインダ)と、その周辺装置の製造、販売

- ◇業績(連結)
47期
【平成18年11月期】
売上高: 5,903百万円
経常利益: 1,042百万円
当期純利益: 609百万円



柄 久 研 削 技 【技術と人柄】

ものづくりはひとづくり、
そして感動のステージへ



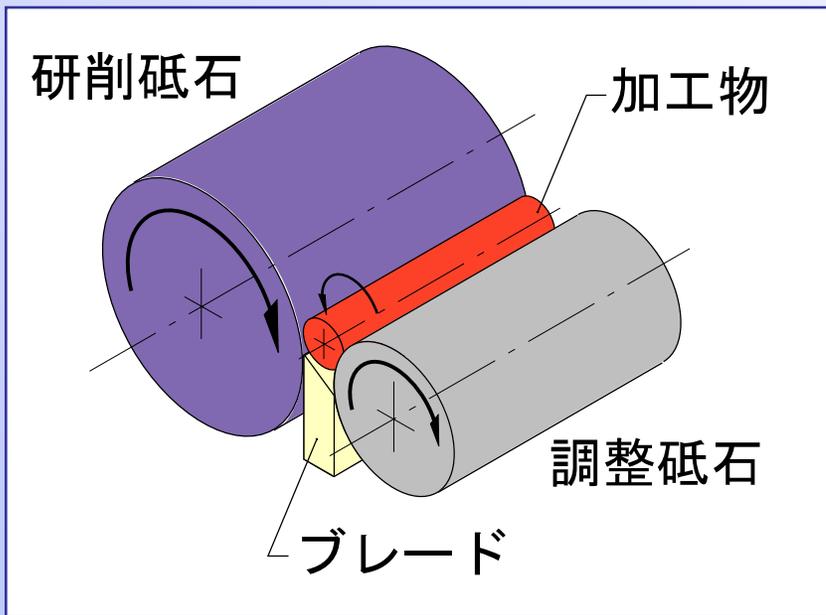
当社の歴史

2000	● 2007/9末 中小型研削盤組立工場(南工場)落成予定	■ 2008 生産6000台到達見込
	● 2006/12 中部サテライト落成(名古屋営業所移転)	
	● 2003/07 ドイツにMicron Europe GmbHを設立	
	● 2000/03 内面研削盤開発	■ 2001 生産5000台到達
1990	● 1998/04 ハイテクノロジーセンター落成 (ナノオーダーの加工精度を目指す)	■ 1994 生産4000台到達
	● 1989/02 米国 CATERPILLAR 社に初納入	■ 1988 生産3000台到達
1980	● 1988/06 米国にMICRON-U.S.A., INC. を設立	
	● 1987/06 米国 AUTOCAM 社に初納入	
	● 1980/08 日本電装株式会社(現:株式会社デンソー)に初納入	■ 1980 生産2000台到達
	● 1978/01 トヨタ自動車工業株式会社(現:トヨタ自動車株式会社)に初納入	
1970		■ 1969 生産1000台到達
	● 1968/05 社名をミクロン精密株式会社に変更	
	● 1963/04 株式会社不二越 に初納入	
1960	● 1961/10 中川精機製造株式会社として発足	
	● 1958/09 中川精機株式会社山形工場として創業	

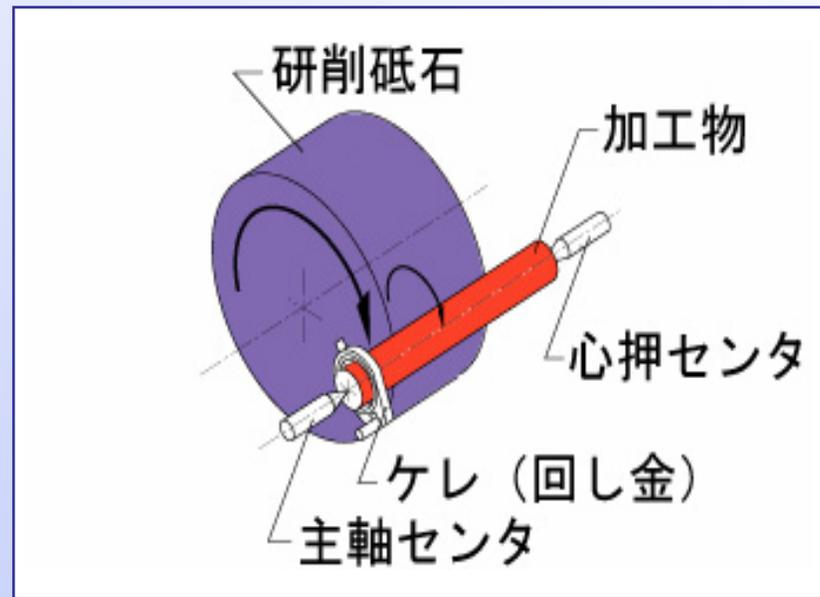
製品紹介

●心なし研削盤

丸棒やリング形状の素材に種々の加工を施す工作機械



心なし研削

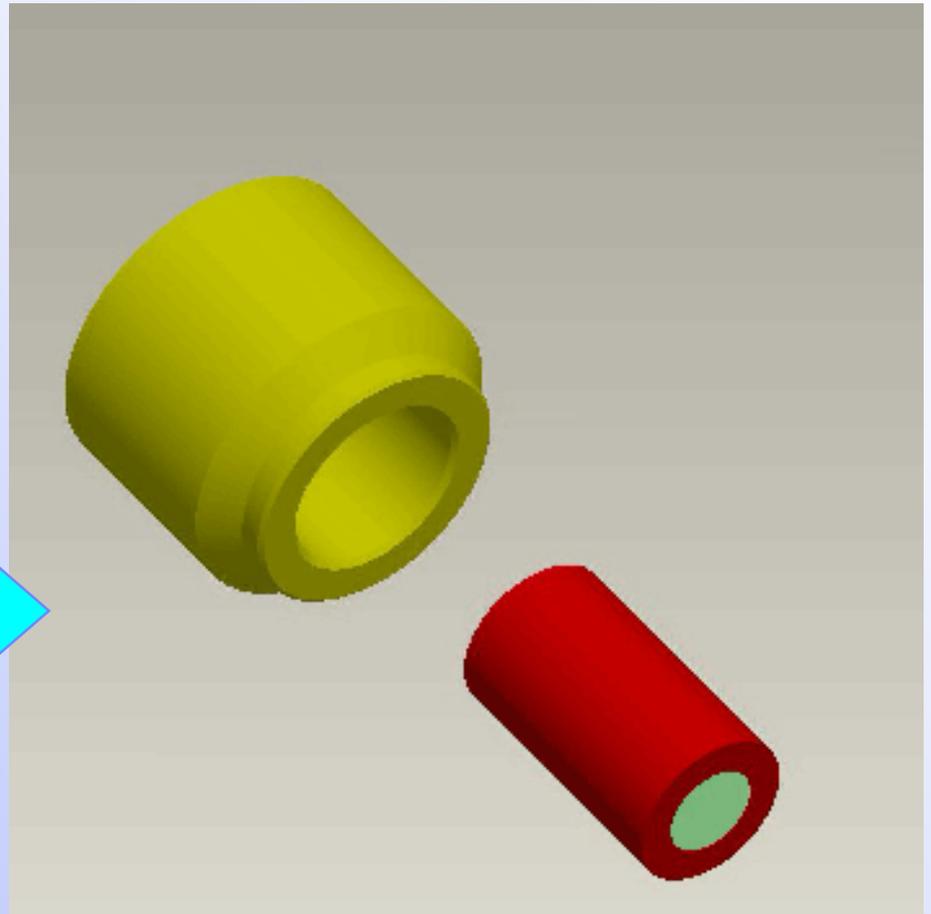
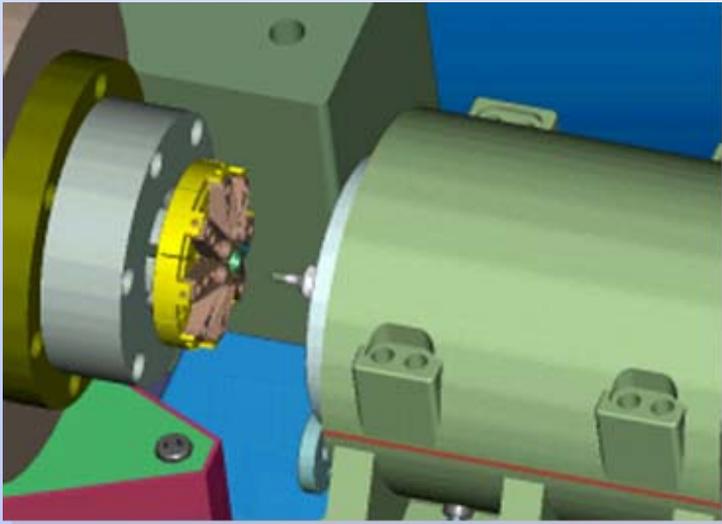


円筒研削

製品紹介

●内面研削盤

円筒及びリング形状の加工物の内周面に種々の加工を施す工作機械



当社の製品で研削される加工事例

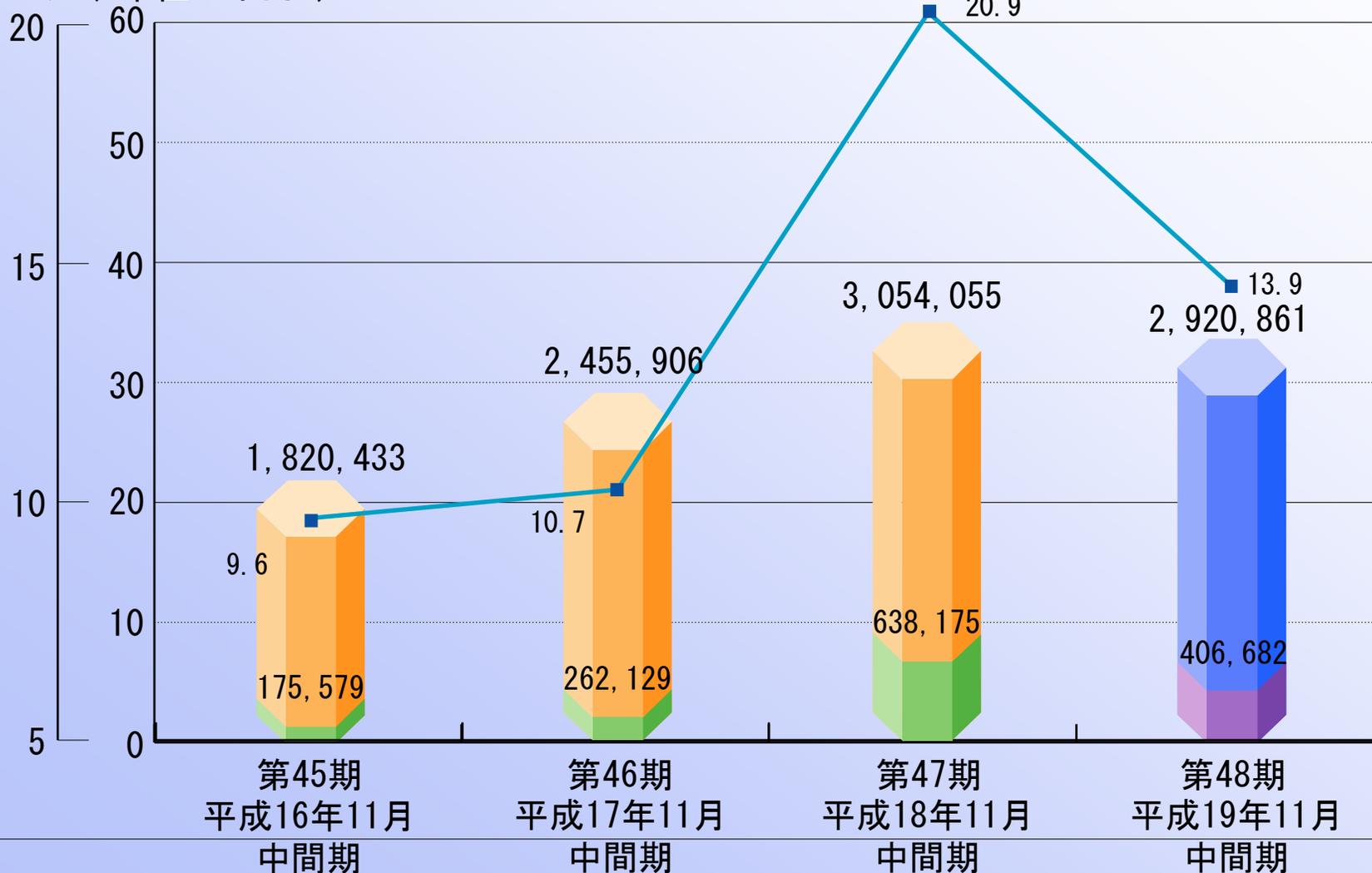


売上高の推移<中間期>

(単位:千円)

売上高 営業利益 売上高営業利益率

(%) (単位:千円)

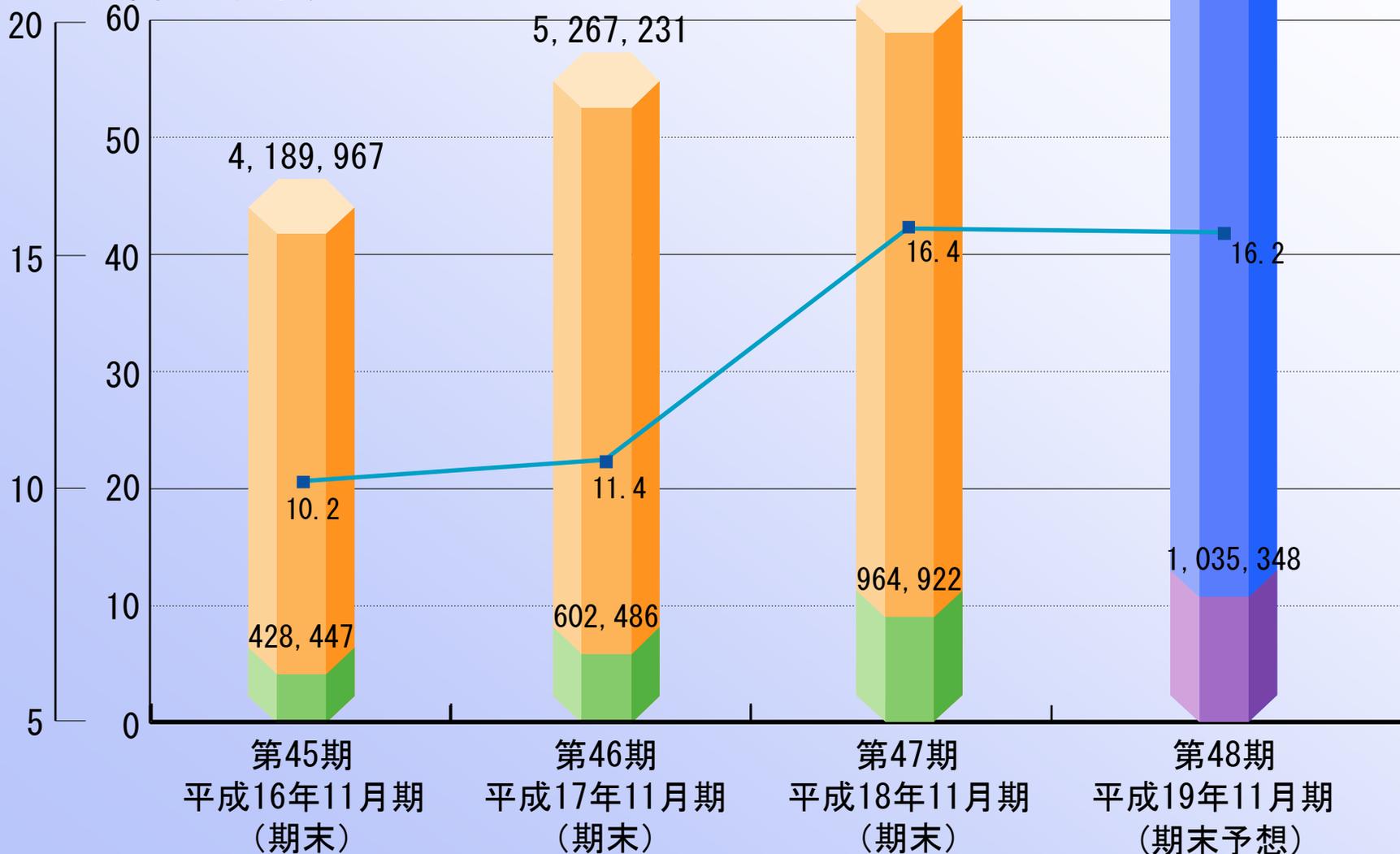


売上高の推移<通期>

■ 売上高
 ■ 営業利益
 —■ 売上高営業利益率

6,401,601 (単位:千円)

(%) (単位:千円)

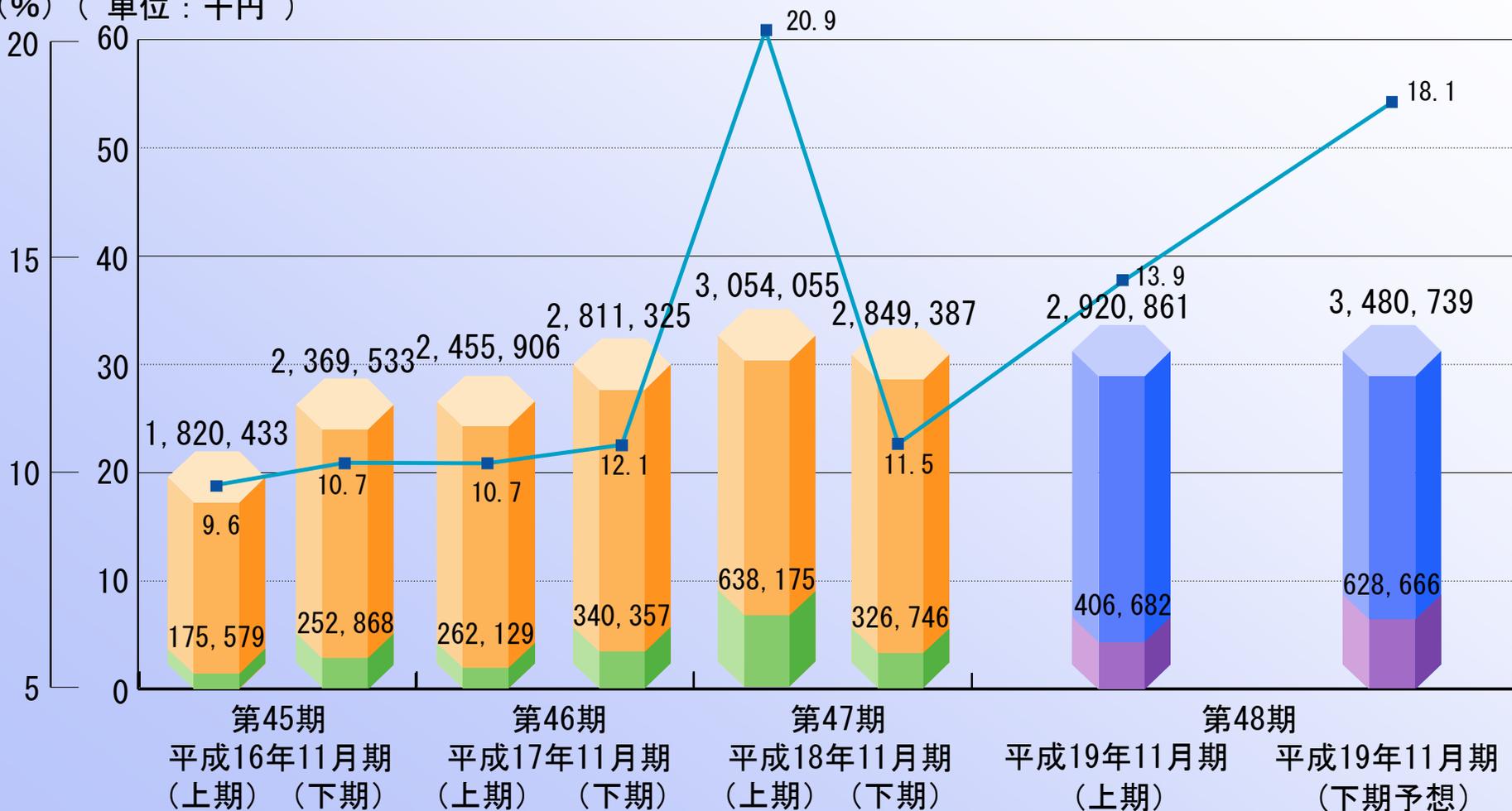


売上高の推移<上期下期>

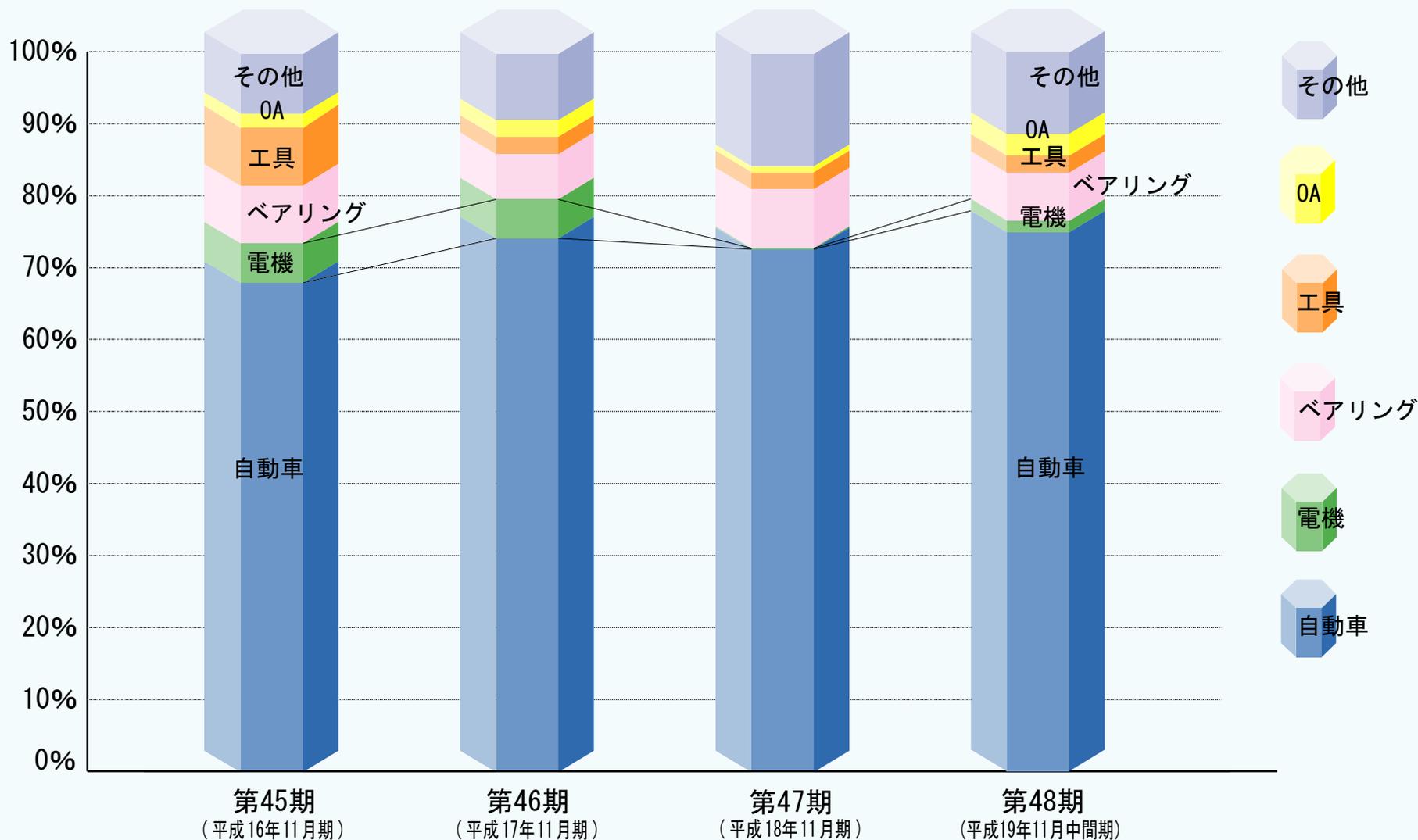
(単位:千円)

■ 売上高
 ■ 営業利益
 —■— 売上高営業利益率

(%) (単位:千円)



業種別売上比率の推移



平成19年11月中間期実績 損益計算書(連結)

(百万円)

	平成18年11月期 中間期実績		平成19年11月期 中間期実績		前中間期 からの 伸び率
		百分比		百分比	
売上高	3,054	100.0%	2,920	100.0 %	-4.4%
売上総利益	1,099	36.0%	903	30.9%	-17.8%
販売費及び一般管理費	461	15.1%	496	17.0%	+7.7%
営業利益	638	20.9%	406	13.9%	-36.3%
経常利益	601	19.7%	591	20.2%	-1.7%
中間純利益	350	11.5%	306	10.5%	-12.6%

売上高につきましては、内面研削盤の売上が貢献したものの、全体的に若干の減少となりました。販売費及び一般管理費の増加につきましては、主にユーザー向けの新技術開発による研究開発費が増加したことによるものであります。また、為替差益と満期による保険解約返戻金による営業外収益の増加により、経常利益、中間純利益とも若干の減少に留まりました。

平成19年11月期中間期実績 品目別売上高(連結)

(百万円)

	平成18年11月期 中間期実績		平成19年11月期 中間期実績		前期からの 伸び率
	売上高	百分比	売上高	百分比	
心なし研削盤	2,262	74.1 %	1,922	65.8 %	-15.0 %
内面研削盤	515	16.9 %	689	23.6 %	+33.8 %
部品	265	8.7 %	295	10.1 %	+11.4 %
その他	11	0.3 %	12	0.5 %	+14.6 %
合計	3,054	100.0 %	2,920	100.0 %	-4.4 %

心なし研削盤につきましては、検収基準に伴い、売上の月ズレによるものもあり、若干の減少となりました。内面研削盤につきましては、国内自動車部品メーカーへの売上増により、前期を上まわりました。部品売上につきましては、主にアジア地区の日系ユーザーへの売上が増加したことにより前期を上まわり、その他売上につきましては、国内自動車部品メーカーへのテスト売上が増加したことにより前期を上まわっております。

平成19年11月期業績予想 損益計算書(連結)

(百万円)

	平成18年11月期実績			平成19年11月期予想		
		百分比	前期からの 伸び率		百分比	前期からの 伸び率
売上高	5,903	100.0 %	+12.1%	6,401	100.0 %	+8.4%
売上総利益	1,929	32.7 %	+23.8%	1,964	30.7 %	+1.8%
販売費及び一般管理費	964	16.3 %	+1.0%	929	14.5 %	-3.7%
営業利益	964	16.4 %	+60.2%	1,035	16.2 %	+7.3%
経常利益	1,042	17.7 %	+30.1%	1,193	18.6 %	+14.5%
当期純利益	609	10.3 %	+35.2%	703	11.0 %	+15.3%

売上高につきましては、主需要先である自動車関連業界の、優れた燃費効率による競争力の優位性を標榜した設備投資が今後も見込まれることや、他業界におきましても、環境問題に対応するさまざまな需要が見込まれることから、対前期比8.4%増の64億1百万円となる見込みであります。経常利益につきましては、保険解約返戻金等の増加が見込まれることから、対前期比14.5%増の11億9千3百万円となる見込みであります。

当期純利益につきましては、このような状況から対前期比15.3%増の7億3百万円となる見込みであります。

平成19年11月期業績予想 品目別売上高(連結)

(百万円)

		平成18年11月期実績			平成19年11月期予想		
		売上高	百分比	前期からの伸び率	売上高	百分比	前期からの伸び率
	心なし研削盤	4,427	75.0 %	+6.9%	4,591	71.7 %	+3.7%
	内面研削盤	890	15.1 %	+48.1%	1,201	18.8 %	+35.0%
	部品	566	9.6 %	+20.9%	586	9.2 %	+3.5%
	その他	18	0.3 %	-65.1%	22	0.3 %	+18.6%
合計		5,903	100.0 %	+12.1%	6,401	100.0 %	+8.4%

内面研削盤につきましては、新機種の投入も含め、主需要先である国内自動車部品メーカー向けの、ディーゼル部門の需要増の見込みから、引き続き高い伸び率を見込んでおります。心なし研削盤につきましては、建機やベアリング業界向けの売上に加え、新市場の開拓も加え、微増と見込んでおります。部品、その他の売上については、増加基調と見込んでおります。

中期経営計画

1. 世界一のものづくりと技術開発

2. 競争力を高める事業展開

3. 時代を先取りする

マネジメントシステムと人づくり

1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

心なし研削盤



MFN-350HPL

従来のMFN-350HPをよりコンパクト化。機械全体をオペレータの視野に収め、省スペース化を実現。



MSA-250BNicb-GS

従来のMSA-250BNをベースに、新たに剛性の高い高精度のドレス装置をデザイン。更に振動・熱変位を抑えるため、特殊コンクリートベッドを採用。

1. 世界一のものづくりと技術開発 新機種開発

内面研削盤

1つのチャックで多
工程を加工できる内
面研削盤。
冷却システムを搭載し
熱変位を抑え安定
性を向上。高精度加
工を実現。

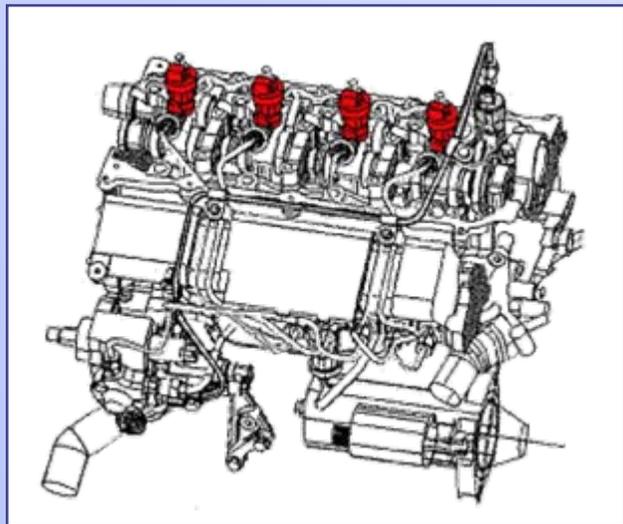


MIG-101WS3G

2. 競争力を高める事業展開

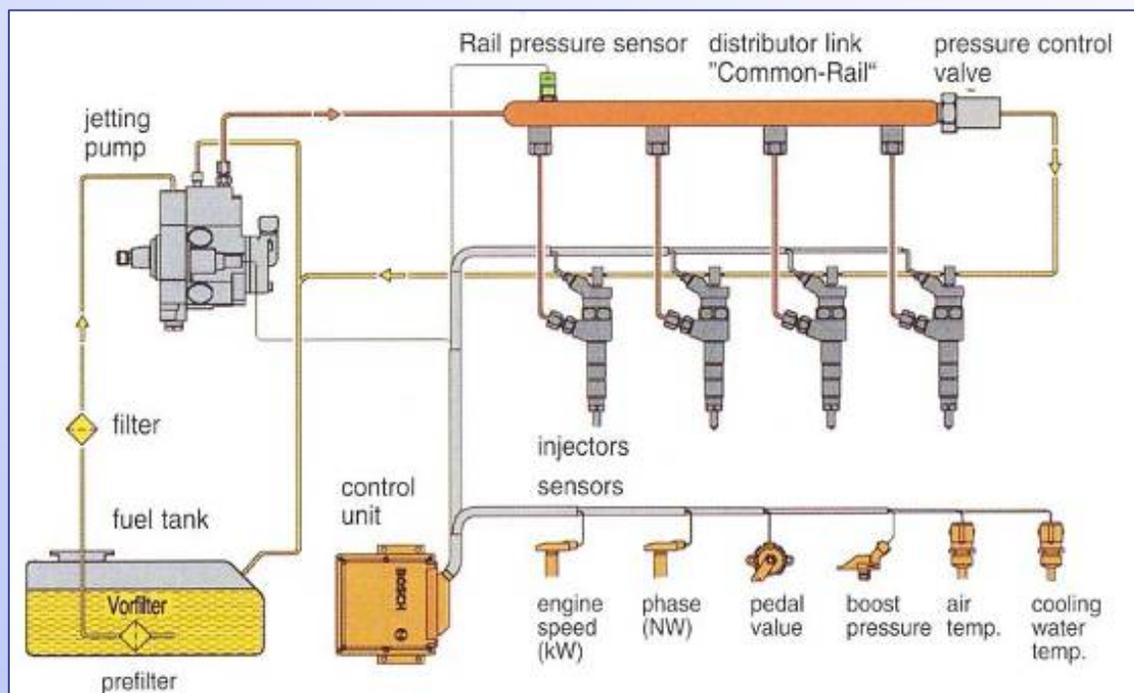
クリーン ディーゼルエンジン への貢献

高圧で燃料を噴射する低燃費でクリーンな最新のディーゼルエンジン燃料噴射バルブ。その主要部品であるノズルニードルは心なし研削盤で、ノズルボディーは内面研削盤で加工されています。当社は、国内のこの分野の加工機では圧倒的シェアを有しています。その他、サプライポンプなどディーゼルエンジン内の様々な部品についても当社の機械で加工されています。



ディーゼルエンジン

コモンレールシステム



2. 競争力を高める事業展開

世界三極体制でワールドワイドにフォロー



オーストラリア、オーストリア、ブルガリア、ブラジル、カナダ、スイス、中国、チェコ、スペイン、フランス、ハンガリー、インド、インドネシア、イラン、韓国、メキシコ、マレーシア、フィリピン、ポーランド、シンガポール、ルーマニア、ロシア、タイ、トルコ、香港、台湾、アメリカ、ベトナム（全28ヶ国）

2. 競争力を高める事業展開

世界最大級の工作機械見本市に最新鋭機を出展 ドイツEMO Hannover2007



マルチフォーム心なし研削盤
MPC-600 IIを出展予定

好評のMD-600 II の
後継機。
**更なる高精度・高剛
性・高能率を重視し設
計。従来のマルチフォ
ーム研削の加工範囲
を拡大し大幅な能率
アップを実現。**

2. 競争力を高める事業展開

生産能力の向上～中小型研削盤組立工場を増築

2007年9月末 落成予定

ユニットモジュールの組立施設

短納期化の実現へ



3. 時代を先取りするマネジメントシステムと人づくり

静かな環境が精度を育む～蔵王に根ざし生産する

粘り強いと言われる県民性を活かした技術の伝承

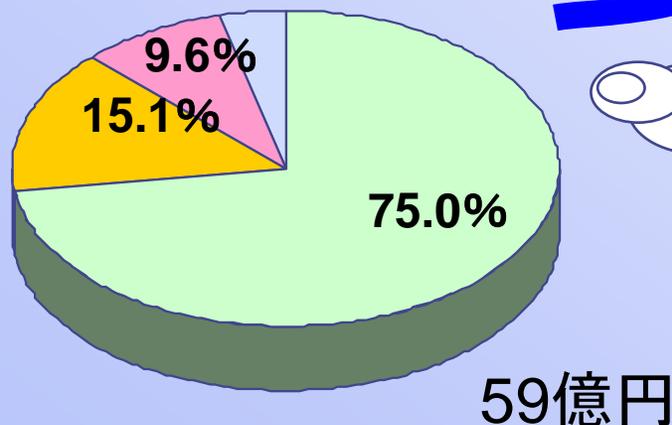
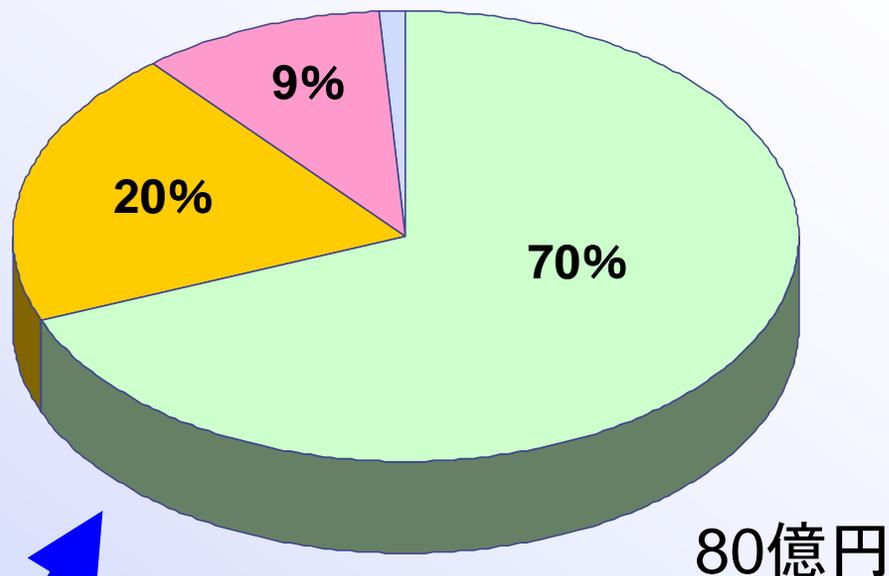
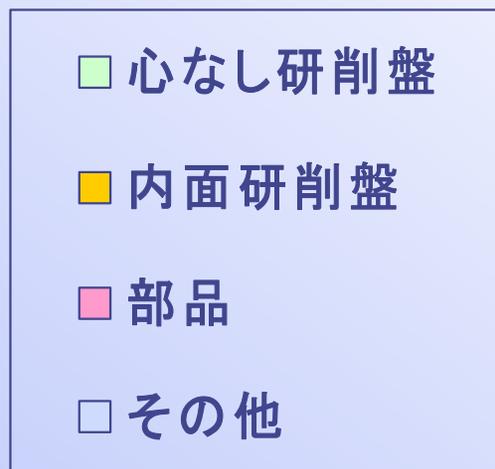
キサゲ作業



砥石軸ユニットの組付け作業



品目分類別売上比率目標 2010年

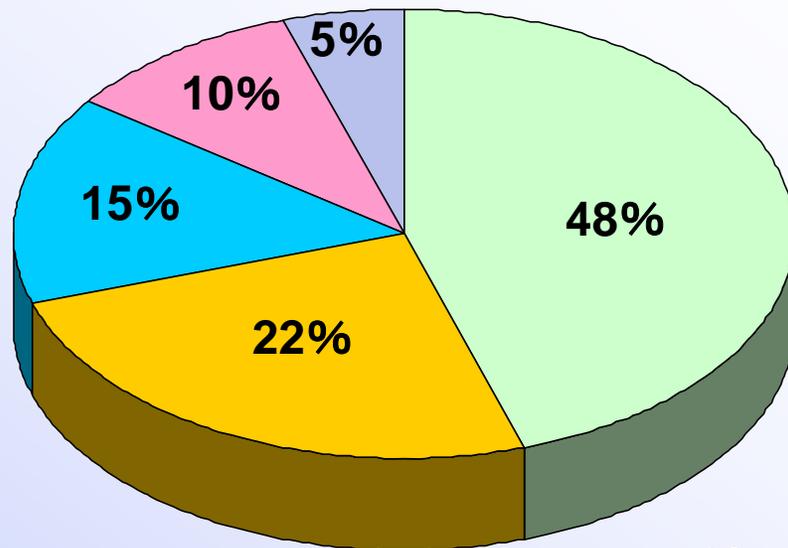
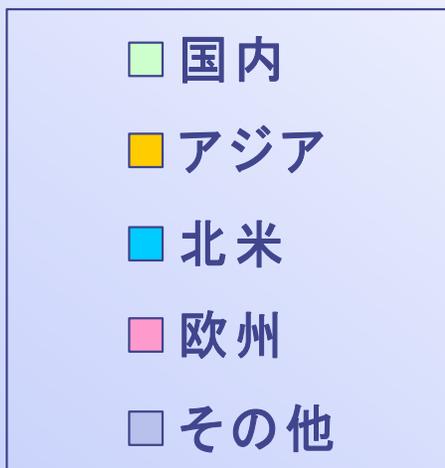


47期(平成18年11月期)

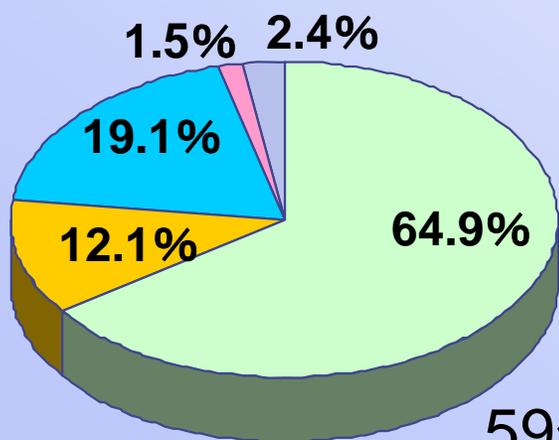
具体的プラン

- ・新分野への販売展開
- ・新工場増築
- ・新規外注先の開拓
- ・ユニット組立の導入
- ・社内製造工程における効率アップ

地域別売上比率目標 2010年



80億円



59億円

47期(平成18年11月期)

